

だれでもできた石井方式

「石井方式は、石井先生だからできるのだ。一般に、だれにでもできる方法ではない」などと、わたしの指導技術をほめたような、また、わたしの指導方式にけちをつけることをいいふらした先生がたよ。「どうぞこの事実を見てください」と、わたしは大きな声で叫びたい。

自慢じゃないが、わたしは指導技術など、ふつうの先生の半分ももっていやあしません。それは自信をもっていえます。だからこそ、わたしは、東京都には今時珍しい、仮免許状しか持っていないのです。

わたしは、わたし以外の先生がこの方法を行なったら、ずっとすばらしい成果を上げることをはじめから知っていました。

袋津小学校の先生がたが、わたしよりずっとすばらしい成果を上げたのを見て、わたしは、弟子に打ちこまれた剣道の先生のような気がして、なみだの出るようなうれしさを味わいました。

ところが、このすばらしい成果は、一年生、二年生にかぎらなかつ

たのです。三年・四年・五年・六年、すべての学年・学級が、それぞれすばらしい成果を上げています。

わたしは、これまで、石井方式は一年生から始めなければ成果を上げるのはむずかしい、とっていました。しかし、袋津小学校の先生がたは、二年生から始めても、いや、もっと高学年から始めても、りっぱに成功することを、すばらしい事実をもって証明してくれました。

これは実に貴重な発見だと思います。石井方式は、いかなる学年からでも、どこの学校でも、どんな先生にでもできることを、示してくれたものということができているのではないのでしょうか。

(なお、袋津小 その後亀田東小と校名変更 の指導内容については、第3巻の107～112頁を参照)